

<地域との連携について>

大崎創成高校は「地域に開かれた学校」から、地域と協働した「地域とともにある学校」を目指しています！

～ 令和8年1月 地域パートナーシップ会議を設置！ ～

地域と密接に連携し、地域ブランドの創出や魅力化に取り組むため、「地域パートナーシップ会議」を今年1月に設置し、以下の内容について協議しています。

- 地域資源を活用した教育プログラムの開発に関する事項
- 6次産業化による地域ブランドの開発や創出に関する事項
- 地域と連携・協働したカフェ運営に関する事項

現在、有識者、地域住民、行政関係者、企業関係者8名の委員により、大崎創成高校の未来について、様々なご意見等をいただいています。



地域を知り、地域に学ぶ！
大崎創成は生徒のドキドキ・
ワクワク感を創出します！

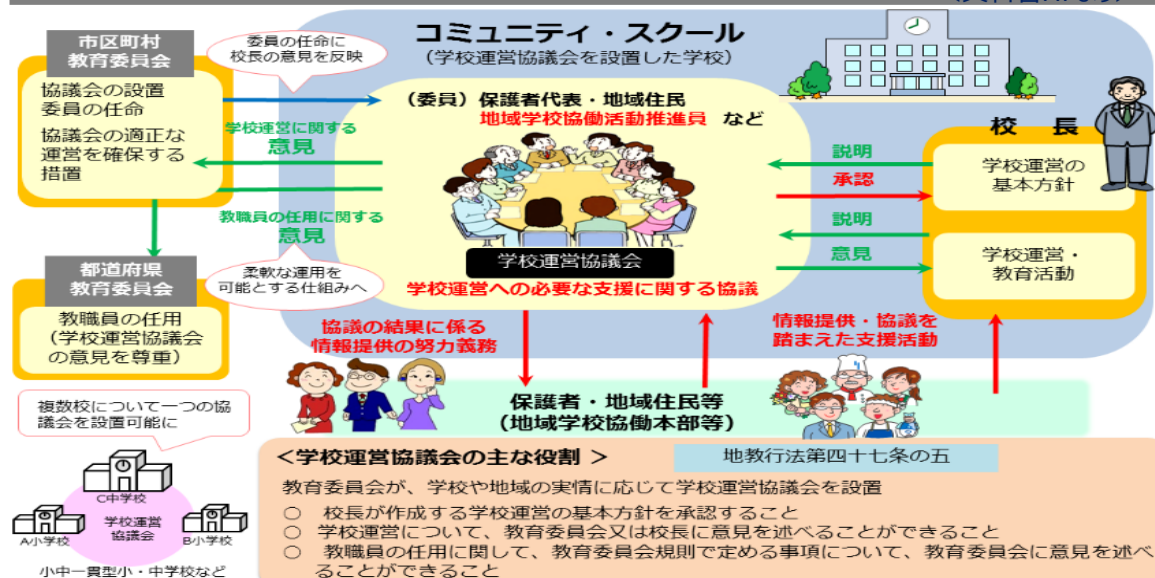
<主なご意見>

- ・地域の「伝統野菜の保護活動」への参画
- ・地元の酒造会社と連携した商品開発
- ・おおさきGIAHS・SDGsパートナー制度への加入
- ・地元の小麦「夏黄金」を使ったパン製造
- ・宮城大学と連携・協働した「カフェ運営」
- ・「シナイモツゴ郷の会」と連携した環境保護活動



令和9年大崎創成高校学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を設置！

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の仕組み <文科省HPより>



<学校運営協議会（コミュニティ・スクールのメリット）>

- 熟議………目標及びビジョンを学校と地域が共有します。
- 協働………学校運営に地域の方が参画し、協働して学校運営します。
- マネジメント……校長のリーダーシップにより、「チーム学校」として組織します。

学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の設置率（R7）

【全国】<文科省HPより>

高等学校（中等教育学校含む）

1,499/3,458校（43.3%）

【宮城県】

高等学校のみ

8/73校（10.9%）



本県における学校運営協議会の設置率については、義務教育段階では進んでいるものの、**県立高校の設置については、遅れている状況**にあります。

大崎創成高校は「地域パートナーシップ会議」から、開校と同時に「学校運営協議会（コミュニティ・スクール）」を設置し、**地域とともにある学校を目指します！**